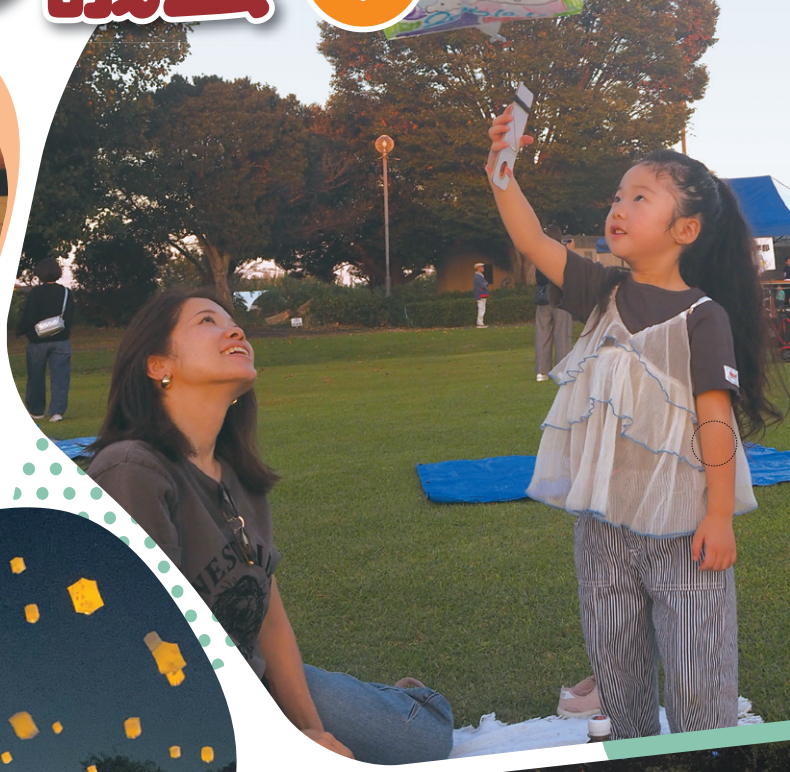
みんなでつくるまち

みやしろ議会だより

No.140
2026.11.1











ハッピー！
スカイランタン!!
（はらっパークにて）

令和７年度一般会計決算
町政70周年！町が行った７つの事業 …… 2
町の考えを問う！一般質問に12人が登壇 …… 12
議案に対する各議員の賛否 …… 19
町民の声・12月議会を傍聴しませんか …… 20

宮代町議会H.P
QRコード

9月定例議会

9月定例議会は、8月26日から9月29日まで35日間にわたって開かれました。
町長から令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定や条例の改正、一般会計補正予算や工事請負契約の締結など提案され、審議の結果、原案のとおりすべて認定、可決しました。
一般質問では、12人の議員が質問に立ちました。

歳入 154億2,609万円

＼町に入ったお金／

住民税の増収や、新築家屋の増加などに伴う固定資産税・都市計画税の増収に加え、地方交付税も前年度を上回りました。



新築家屋の増加による固定資産税・都市計画税の増





定額減税の減少による個人町民税の増



＼＼ 皆様の暮らしを支える大切な財源です ／／



令和７年度

一般会計決算

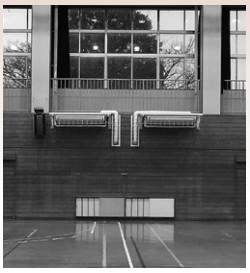
町のお金はどのように使われたのか？

歳出 144億8,379万円

町が行った７つの主な事業

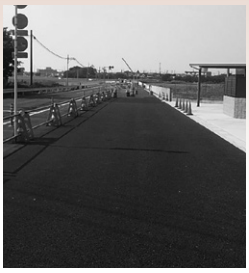
1 防災

●指定避難所に空調機器を整備
- 町内小中学校体育館（須賀小を除く）
- 総合運動公園



2 まちづくり

●都市計画道路整備事業
●春日部久喜線（町道第12号線・252線）
●万願寺橋通線（町道75号線）の整備工事を計画的に推進



3 環境推進

●温室効果ガスの排出削減を図るため、省エネ性能の高い対象家電購入費用の補助



4 子育て支援

●こども医療費支給事業
●病児保育の受け入れ対象を拡大



5 防犯

●防犯カメラを設置



6 教育

●児童・生徒及び教職員が使用する学習用タブレット端末を新機種に更新



7 町制70周年事業

●町制施行70周年を記念し、町の節目を祝う記念事業を実施。
- 記念式典の開催
- 百間地下道、和戸地下道リニューアル工事
- 70周年記念マンホール作成









総務・財政

主な使い道

便利バスが走る事業	6,538万円
庁舎等管理事業	7,464万円
ふるさと納税管理事業	7,627万円
OA管理事業	2億3,656万円
移住定住促進事業	344万円

住民アンケートで公共交通需要調査を実施

問 便利バスが走る事業の運行収入減の考察は。

答 月平均70人の減、1日当たり2人程度の減で全体的には安定した稼働状況であり、7年度から社内に広告スペースを設け広告収入を得ている。

問 公共交通需要調査の結果をどのように生かしていくのか。

答 バス停ごとの利用の状況、地域による偏りの現状と課題が確認された。分析を行い検討していきたい。



公共交通需要調査を行った

問 電話交換機通話録音装置設置導入後の効果や町民からの苦情は。

答 記録が残るので緊張感を持ち対応、苦情はない。開庁時間外の電話が減った。

問 テレビ受信料が予算額より10万円以上増額の理由は。

答 公用車のカーナビ2台分の受信料を遡って支払ったため。

問 企業版ふるさと納税の各社寄付対象事業の詳細は。

答 宮代の魅力推進事業、新しい村の管理運営、宮東中島の圃場整備、東武動物公園駅西口整備、わくわくロード、まちなか起業創業支援に充当。

生活・環境

主な使い道

防犯活動事業	1,651万円
進修館管理事業	5,435万円
減量推進事業	545万円
みやしろの魅力推進事業	328万円
環境衛生事業	457万円
環境推進事業	302万円

警察と協議し防犯カメラを町内19か所に設置

問 19台の防犯カメラ設置後、警察からの動画提出依頼はあったか。

答 7年度ははらっぱークにあるカメラの映像の確認があった。

問 姫宮駅付近のカメラが狭い道路にポールを立て設置しているが、他の方法はなかったのか。

答 電柱への設置も検討したが維持管理費等を考慮した。

問 進修館の撮影等の貸し出し日数は。利用収入は増えているか。

答 10件で20日間。収入金額は742万円で前年比90万円増。



町内19カ所にカメラを設置

問 進修館の利用団体名の掲示は。

答 デジタルサイネージの導入を検討。

問 食品ロス削減推進キャンペーンに350万円の予算が計上されていたが、160万円ほど減った理由は。

答 すてずんシールの枚数が予定より少なくなった。

問 みやしろの魅力推進事業の不用額が38万円になった理由は。

答 西原自然の森の竹の処分の費用がかからなかったため。

問 環境衛生事業の不用額の主な理由は

答 アライグマの捕獲が予想より安価にできた。

保健・福祉

主な使い道

福祉医療センター運営事業	4,492万円
こども医療費支給事業	1億3,527万円
こども家庭センター事業	1,081万円
保育所管理事業	6億4,175万円
母子保健事業	2,683万円

福祉医療センター六花をかかりつけ医にするには

問 問診療所の利用状況がマイナスになっているが、初診からかかりつけ医に繋がらない現状をどう捉えているのか。

答 コロナ渦以降受診控えが続いている状況。改善策としては情報交換を図り、利用者様の声も聞き取るようにする。

問 こども医療費支給事業で、入院も通院も減っているのに金額が増えている理由は。

答 診療内容までは把握できないが、より高額な治療が多かったと思われる。

問 投薬も含め、助成金に限度はないのか。

答 特に上限はない。

問 小4から中3を対象としたヤングケアラー実態調査の内容は。

答 児童生徒が家庭で行なっているお世話やお手伝いの内容や頻度、日々感じていることを質問。

問 ヤングケアラーと判断される児童生徒はいたのか。

答 該当するおそれのある児童生徒に面談。その結果、ヤングケアラーと判断した児童生徒はいなかった。



六花をかかりつけ医にするには

建設・観光

主な使い道

道路維持管理事業	9,595万円
橋りょう整備事業	4,830万円
都市計画道路整備事業	8,983万円
新しい村管理運営事業	4,512万円
東武動物公園駅東口周辺整備事業	2億3,300万円
東武動物公園駅西口周辺整備事業	1,321万円

役場庁舎と進修館の間の道路がリニューアル

問 役場庁舎と進修館の間の道路に型押しで模様を入れたが、使用面での効果は。

答 定期的なメンテナンス、振動、騒音がなくなり、排水性、耐久性が上がった。

問 駅前広場の用地買収と無電柱化の進捗は。

答 84％買収済み。無電柱化は業者と打合せ中。今後用地買収を進める。

問 古川橋側道橋工事業費と内訳は。

答 3億8千万円のうち、国費2億4千万円を除いた金額の2割が町の支出。

問 新しい村集落農園灌漑設備修繕工事の詳細は。

答 市民農園の灌漑設備の老朽化に伴う修繕と井戸ポンプ等の修繕、井戸のブラッシング洗浄。

問 災害時、スマートフォンの充電ができるスマートベンチの設置場所と費用は。

答 進修館前交差点に設置。費用は52万8千円

問 スマートフォンの充電ができる仕様になっているが、説明案内は。

答 町広報誌やSNSで紹介している。



庁舎と新修館の間の道路

教育・文化

主な使い道

小学校施設管理事業	2億8,299万円
英語教育推進事業	1,951万円
教育支援センター運営事業	542万円
町民みんなが先生推進事業	105万円

小学校トイレ洋式化、教育センターの空調設備修繕

問 小学校のトイレ改修工事の詳細は。

答 百間小、笠原小、東小の和式便器の一部を洋式便器へ変更し、湿式から乾式へ改修した。

問 「島村盛助」氏を顕彰する英語活動発表会を11年続けているが、内容を変えてもいいのでは。オンラインでの発表は続けるのか。

答 内容は工夫している。子どもたちが英語を使う場をつくりだすものであり、オンライン開催を固定化するものではない。

問 教育センター運営事業の施設修繕料262万円の内容は。

答 施設内空調設備2台の故障による更新費用とトイレの修繕費等。

問 教育相談が令和6年度715件から令和7年度1068件に増加しているが、人数は。

答 相談人数は91名増加している。

問 町民みんなが先生推進事業で、8名の町民がどのような活動を指導しているのか。

答 小学校音楽クラブ、中学校部活動（剣道、サッカー、卓球）、小学生のプログラミング教育など。



洋式化で快適に

反対討論　丸藤 栄一 議員

①プラスチック類は焼却せず、従来どおり資源化で進めるべき。②都市計画税は町民への重い負担となっている。③役場の管理職員に女性登用の比率が低い。④百間公民館の駐車場台数を多くすべき。

賛成討論　九山 妙子 議員

継続している事業は改善されているか。今後に繋げていくためにどう考えているか。税金が使われている以上、いかにその事業を活かし、住んで良かったと思える政策の執行か確認できたので賛成。

反対討論　佐藤 将行 議員

女性幹部の登用が少ない。公民館にエレベーターがない。特定健診でのIT化が進んでいない。トイレの洋式化が進んでいない。物価高騰の対応は、近隣自治体と比べ経費がかかっており、反対する。

賛成討論　小島 あけみ 議員

避難所への空調設備の設置完了・駅周辺と公共施設への防犯カメラの設置は、町民の安全と健康を守る基盤であり重要な整備である。また「書かない窓口」の導入は効率化を図る取り組みであり賛成。

賛成討論　福澤 和美 議員

児童手当の拡充や物価高騰対策、電子申請の利便性向上、学校施設のトイレや外壁工事など教育環境の整備を評価。宮代町の良さを生かし、持続可能な町政運営を期待し賛成する。

賛成討論　野原 洋子 議員

宮東中島圃場整備や地下道の改修、防犯カメラ設置、子育て支援の充実など成果が見られ、転入者も増加しました。総合計画前期実行計画は概ね成功と評価し、後期実行計画の実現に期待して賛成。

6,800万円の引き上げ

令和7年度の特別会計決算及び企業会計決算は、決算特別委員会において質疑が行われました。

会計区分	歳入	歳出	増減率
国民健康保険特別会計	32億 508万円	31億7,121万円	3,387万円
介護保険特別会計	36億1,393万円	35億1,190万円	1億 203万円
後期高齢者医療特別会計	7億3,212万円	7億2,799万円	413万円
合計	75億5,113万円	74億1,110万円	1億4,003万円

国民健康保険

〈賛成9、反対3で可決〉

会計収支では、普通交付金の減少や国民健康保険事業費納付金の増により1161万円の赤字となりました。

特定健康診査受診率向上に向け、引き続き、インターネット予約により受診しやすい環境づくりを推進しました。

また、集団健診時に胃・肺・大腸がん検診ができる環境整備と共に生活習慣病重症化予防対策を実施しました。



健診の受付は早めに

主な質疑

問 令和7年度の1人当たりの国保税と引き上げ額、1世帯当たりの国保税と引き上げ額は。

答 1人当たりの国保税は11万2150円で、引き上げは1万5411円。1世帯当たりの国保税は15万6663円で、引き上げは1万8819円となっている。

問 国保加入者の1世帯当たりの平均所得は。

答 130万235円である。

問 国保税が払えなくなった滞納世帯は。

答 令和8年6月現在で521世帯となっている。

問 制裁措置の有無は。

答 令和7年度の差押さえは44件で、金額で1618万円となっている。

問 法定外繰入金が前年度と比べて減った理由は。

答 埼玉県の運営方針に基づき、令和9年度に準統一、令和12年度に完全統一される。その前提として令和8年度までに赤字、法定外繰入の解消が求められている。それに伴い令和7年度に国保の税率改正を行い、法定外繰入金も減額した。

問 法的に町は県に従う義務はあるのか。

答 法的に従う義務はない。税率改正が議決事項ということになっているので、仮に否決されれば、完全統一の税率に改正できないので、義務というより、自治体で定めるものという位置づけになっている。

反対討論

丸藤 栄一 議員

①国保加入者は高齢者や低所得者が多く、国保税が高すぎて払えないのに国保税を引き上げたこと。②一般会計からの繰入を行うなど、国保税を引き下げるべき。③子どもへの均等割を非課税にすることを求め反対する。

国保税は

介護保険

〈賛成9、反対3で可決〉

65歳以上の第1号被保険者は1万854人で、人口に占める割合は32・6％となっています。要介護等認定者（要支援1～要介護5）は、2040人（第2号被保険者を含む総認定者数は2084人）で、認定率は18・8％となっています。

高齢者相談センターを町内1か所体制から南北の区域に分けた2か所体制で運営し、相談支援体制の充実につなげました。



みんなで健康体操

主な質疑

問 地域交流サロン・健康づくり団体に対し、地域のふれあい居場所づくり支援事業補助金を交付した。新たに2団体増えた地域は。

答 学園台地区と須賀地区の2団体である。

問 高齢者の給食配食サービス委託料の不用額が多くなった理由は。

答 令和7年度より自己負担を300円から400円に引き上げたこと。また、対象者要件を見守りが必要な高齢者等で、買い物や食事の用意が困難な方、という条件の見直しを行ったためである。

反対討論

野原 洋子 議員

要介護認定の更新事務には多額の経費と人材が必要であり、状態に変化がない方への更新を簡素化するなど、制度の効率化を国に求めるべきであり反対。

後期高齢者医療

〈賛成9、反対3で可決〉

収納対策においては、納付方法として口座振替やコンビニエンスストアでの納付、スマホ決済（7種類）を設け、納付しやすくしました。新規被保険者に対しては、口座振替申し込みの促進を図りました。

主な質疑

問 マイナンバーカードと健康保険証の切り替えは。

答 令和8年6月でマイナ保険証の登録率は78・7％、マイナ保険証の利用率は56・2％となっている。

反対討論

丸藤 栄一 議員

加入者の平均所得が67万2千円に対し、加入者1人当たりの保険料は8万5828円と高すぎる。これでは安心して医療を受けられる制度とは言えない。

水道事業会計

〈賛成10、反対2で可決〉

●収益的収支（税抜）

収益的収入7億5263万円、収益的支出7億4787万円、純利益476万円。

●資本的収支（税込）

資本的収入5億6871万円、資本的支出10億7030万円、不足額5億159万円。不足額は内部留保資金などで補てん。

給水件数は1万5595件。給水人口は3万3254人。年間給水量は362万6千㎥、1日平均給水量は9936㎥となりました。

反対討論

丸藤 栄一 議員

家庭用1か月当たり20㎥使用した場合、水道料金の平均では宮代町で3003円、埼玉県で2586円。県平均水準まで引き下げるべきである。

下水道事業

〈賛成10、反対2で可決〉

●収益的収支（税抜）

収益的収入11億5026万円、収益的支出10億4364万円、純利益1億662万円。

●資本的収支（税込）

資本的収入3億4346万円、資本的支出5億2910万円、不足額1億8564万円。不足額は内部留保資金などで補てん。



宮東配水場第１配水池

反対討論

佐藤 将行 議員

八潮市の事故で明らかとなった硫化水素による劣化の修繕計画がないこと。管の法定更新時期の超過への考慮が示されていないなどの理由で反対である。

県補助金　宮代版スーパーシティプロジェクト構想推進事業
新しい村　6次化加工施設など整備に向けて
全会一致で可決



新しい村６次化加工施設予定地

既定の予算額に4億5848万円を増額し、総額170億9365万円とするものです。

一般会計補正予算の主な内容
令和８年度後期高齢者療養給付金負担金の増
11月末より久喜市へごみ処理を委託することに伴う負担金
防災倉庫の新設、移設
劣化した公園遊具の撤去
宮代版スーパーシティプロジェクト推進補助金
給食無償化に伴う非喫食者への補助金

主な質疑

問　宮代版スーパーシティプロジェクト構想推進事業の内容は。

答　東武動物公園駅から新しい村までのエリアでのコンパクトな地域拠点整備、小学校の多機能複合化、ＡＩの活用、再生可能エネルギー設備の整備により災害時の安心と脱炭素化を同時に実現するまちづくりを目指したプロジェクトである。

問　防災対策費の防災活動事業３４４万４千円の内容は。

答　落雷により故障した防災行政無線のアンプ及び経年劣化が原因によるＪアラート自動起動機の修繕１６３万１千円。宮代高校の敷地内に防災倉庫を新設及び福祉避難所である宮代特別支援学校へ、姫宮北遊水池公園に設置されている防災倉庫を移設１８１万３千円。



防災倉庫の移設

問　ごみ処理負担金の積算根拠は。

答　令和８年11月30日～令和９年３月31日までの久喜市クリーンセンター試運転期間に係る当町の負担金である。試運転期間のごみ処理経費として、１億４８４万６千円、収入として４ヶ月分の事業系一般廃棄物の処理手数料５５００万円を見込んでいる。ごみ処理経費と収入の差額に当町の負担割合21・４％を乗じて得た額である。



ごみの分別方法が変わります

国民健康保険特別会計補正予算

〈賛成9、反対3で可決〉

人件費補正、国民健康保険事業費納付金確定、前年度決算余剰金の精算に伴い、既定の予算額に3453万1千円を増額するものです。

反対討論

丸藤 栄一 議員

今年度から児童手当に充てる財源として、「子ども・子育て支援金」が国保税に上乗せになった。本来国の責任で児童手当の拡充を図るべきである。



介護保険特別会計補正予算

〈賛成10、反対2で可決〉

人件費補正、前年度繰越金の確定及び国県負担金の精算等に伴い、既定の予算額に1億562万円を追加するものです。

主な質疑

問 介護認定調査員の勤務条件の見直しはどのように行われたのか。

答 6名体制を予定していたが、5名しか確保できなかったため、内2名の勤務日数を月10日から週4日程度（月16日程度）に増やし欠員分を補った。

問 介護認定の更新申請にかかる認定調査委託料について、今年度から近隣市町と同程度の水準に引き上げた経緯について伺う。

答 委託業者から物価高騰や人件費上昇により、従来の一件4400円では受託が難しいとの申し入れがあった。近隣自治体の状況も踏まえ、認定調査の継続性を確保するため、今年度から一件5500円に引き上げた。

反対討論

野原 洋子 議員

認定調査委託料の増額は理解しますが、更新申請の方法には改善の余地があり、限られた財源と人員を効率的に活用すべきと考え反対とします。



後期高齢者医療特別会計補正予算

〈賛成11、反対1で可決〉

人件費補正、後期高齢者医療広域連合納付金確定、前年度決算余剰金の精算に伴い、既定の予算に236万7千円を増額するものです。

水道事業会計補正予算

〈全会一致で可決〉

職員の人事異動、共済負担金率の確定などに伴い、収益的収入を12万円減額し 収益的支出を135万円増額するものです。



下水道事業会計補正予算

〈全会一致で可決〉

人件費補正に伴い、既定の予算額に収益的収入及び収益的支出を124万4千円増額するものです。

解散及び財産処分、事務の委託、条例、工事請負契約

1 久喜宮代衛生組合の解散及び財産処分

賛成 11 反対 1 で可決

提案理由

久喜宮代衛生組合を解散し、及び同組合の財産処分について協議したいので、地方自治法第 290 条の規定により、提出するもの。



2 久喜市と宮代町との一般廃棄物の処理に関する事務の委託

賛成 11 反対 1 で可決

提案理由

宮代町の一般廃棄物の処理に関する事務を久喜市に委託することについて協議したいので、地方自治法第 252 条の 14 第 3 項において準用する第 252 条の 2 の 2 第 3 項の規定により、提出するもの。



3 宮代町廃棄物の処理及び再利用に関する条例

全会一致で可決

提案理由

久喜宮代衛生組合から塵芥（じんかい）業務が宮代町に移管されることに伴い、宮代町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正したいので、地方自治法第 96 条第 1 項第 1 号の規定により、提出するもの。



4 宮代町税条例の一部を改正する条例

賛成 10 反対 2 で可決

問 附則第 6 条の特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例、いわゆるセルフメディケーション税制については、受診控えを通じた医療費の抑制を狙う政策の一環として措置された特例ではないのか。

答 **税務課長**

医療費控除の特例で、通常の医療費控除との選択適用になる。誰しもが、通常の医療費控除を選択できるとすれば、受診を控えるよう促し、医療費抑制を図るものではないと思われる。



5 工事請負契約の締結

賛成 11 反対 1 で可決

工事の内容

❶ 工 事 名　公設宮代福祉医療センター六花屋上防水及び外壁改修工事
❷ 施工箇所　宮代町大字須賀 177 番地
❸ 履行期限　令和 9 年 3 月 31 日
❹ 請負金額　1 億 8,689 万円
❺ 請負業者　中村建設株式会社

賛成討論　福澤 和美 議員

町内視察の際に、六花の雨漏りや外壁の老朽化を確認。特に、天井の雨漏りによるシミが広がっていて、壁が黒くなっている所が数か所あった。衛生面から見ても、早期に改修していただきたいと思い、賛成。





屋上防水・外壁を改修します

議員研修会を開催しました!

７月 18 日、宮代町議会室において議会改革アドバイザーである、取手市総務部次長兼情報管理課長　岩﨑弘宜氏による議員研修会を開催しました。

「議会と議員の基礎研修～反省なくして成長なし・調査なくして発言なし～」として、議会での議員の発言について個々の質疑、討論を含めた発言のレベルアップについての講義、及び令和６年 12 月ハラスメント根絶条例制定後、２回目の職員と議員を対象にしたハラスメントに関するアンケートを実施し、未だハラスメントは行われている結果を受けて、職員を守るためのルールをワークショップ形式で３テーブルに分かれて意見交換を行い、グループごとに発表しました。各議員から具体的かつ活発な意見が出され、大変有意義な研修となりました。





議会 TOPICS



議会もペーパーレス化へ！
９月定例会から議会にタブレット端末を導入





宮代町議会では、９月定例会からタブレット端末を導入しました。

これまで紙で配布していた議会資料をタブレット端末で閲覧・共有することで、資料のペーパーレス化や情報共有の効率化を進めます。導入に向けては議会改革特別委員会で令和７年度から調査研究を開始。機種の選定から運用方法、規程の整備まで検討を重ね、準備を進めてきました。これからもより効率的でわかりやすい議会運営を目指し、議会改革に取り組んでいきます。



宮代町議会改革特別委員会では…

議会での議案質疑、予算・決算特別委員会での質疑の事前通告、一般質問での資料配布の導入などを進めました。現在は議会ＢＣＰ※や議会のライブ配信などについて協議中です。

※議会ＢＣＰとは　緊急事態が発生した際に、議会としての機能維持や早期復旧を図るための計画



町の考えを問う!

一般質問とは、各議員が町の政策に対し、その執行の状況や将来の方針などについて報告を求めたり、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質問することです。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたダイジェストです。詳しくは QR コードより録画配信をご覧ください。

一般質問項目一覧

P13
九山 妙子 議員
❶ ラーケーションの導入
❷ 災害時の子どもの居場所

土渕 保美 議員
❶ 宮代町がん検診
❷ 当町においてのオストメイト対応トイレ

P14
福澤 和美 議員
❶ 持病や障がいなどのある子どもの入園
❷ 防犯灯、道路照明灯の点検
❸ 防犯カメラの設置

丸藤 栄一 議員
❶ 水道料金（下水道料金）の値上げ
❷ 教育にかかる保護者負担の軽減を
③ 猛暑や酷暑から町民の命と健康を守るため、エアコン設置補助の創設を

P15
小島 あけみ 議員
❶ 中学校でのヘルスリテラシー向上
❷ 単身高齢者の支援
❸ 災害時における「配慮が必要な人」の避難所整備

佐藤 将行 議員
❶ 総合運動公園「ぐるる宮代」のプール屋根改修工事
❷ 物価高騰対策事業の経費の無駄遣い
❸ 旧るーばん問題における一千万円出資金返還
❹ 町内の小中学校建替え等の問題を中心とした、一般会計予算

P16
野原 洋子 議員
❶ 災害時における公共施設及び、商業施設の危機管理と対策は
② 小中学校の防火対策及び危機管理は
③ 複合施設のトイレ表示は
④ 自転車の歩道走行の推奨は

田島 正徳 議員
❶ 災害に対する町の考え
❷ 特別支援教育

P17
塚村 香織 議員
❶ 高齢者・認知症施策の今後
❷ 小学校給食費無償化における不登校児童の対応の見直しを
❸ ふるさと納税を活用した宮代町のファンづくり

合川 泰治 議員
① 公共施設の契約不適合責任
❷ 宮代町公共施設マネジメント計画（第２期）の展望
③ 町職員の多様な働き方
④ おみやげ開発の取り組みは

P18
泉 伸一郎 議員
❶ 災害時における受援計画の策定は
❷ 熱中症対策の取組強化を
❸ 自転車でのヘルメット着用の促進を
❹ 上下水道施設の耐震化の取組は

鈴木 次男 議員
❶ 未来の宮代町公共交通
❷ 桜の木の倒木
❸ 和戸交差点周辺の安全対策

一般質問は８月 31 日、９月１日、２日の３日間で行いました

※項目一覧の順番は抽選順です。
※白抜き数字は掲載された質問、それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。

災害時の子どもの居場所の確保を
保育園など速やかに開園開所する



まるやま たえこ
丸山 妙子 議員



防災対策は子どもの人権を後まわしにしない配慮を

問 災害時、心の安定に繋がる子どもの居場所について、早めの対策が必要では。

答 子育て支援課長

こどもたちは日常の喪失や強い恐怖心等から心身に大きなストレスを抱える。

こどもの気持ちに寄り添い安心感や日常を取り戻すためのサポートが重要。施設の安全確認や保育士の確保ができ次第、開園開所していく。

問 ①避難所機能と学校教育機能の線引きは。②避難所設営から2～3日で子どもの居場所作りを想定しているか。

答 くらし安全課長

①校舎内は、児童生徒のみの環境が望ましい。②屋内にとどまらず、安全が確認されたグラウンドや中庭など、屋外スペースも視野に柔軟に検討したい。

ラーケーション※

問 平日に親子のコミュニケーション、様々な体験や経験、将来に繋がる興味や関心のきっかけになるラーケーションの導入に当町の考えは。

答 教育長

当町では検討していない。他自治体導入事例について情報収集し、その課題や効果の把握に努める。

※ラーケーションとは 学びの「ラーニング」と休暇の「バケーション」を組み合わせた造語。

オストメイト対応トイレの整備
整備する方向で考えている



つちぶち やすみ
土渕 保美 議員



オストメイトが安心して利用することができる

問 町内の公共施設におけるオストメイト対応トイレの整備状況と今後、整備される須賀小学校の地域コミュニティセンターや新しい村のトイレについて、オストメイトトイレを設置する考えは。

答 福祉課長

オストメイト対応トイレの整備状況は、役場庁舎1階東側、総合運動公園体育館内、はらっパーク宮代西側、公設宮代福祉医療センター六花1階、新しい村「村の集会所」の多目的トイレとなっている。

新たに整備をする施設については、両施設とも、オストメイト対応のトイレを整備する。

宮代町がん検診

問 現在、がんは2人に1人がかかる病気でがん検診のメリットは、死亡リスクを防ぐことが出来るがデメリットと今後の町の展開と課題は。

答 健康介護課長

すべてのがんが100%見つかるわけではなく、不要な検査や治療による身体的精神的な負担が生じる場合がある。皆様のライフスタイルに合わせた受診しやすい環境づくりに努める。

持病や障がいのある子の入園は
各幼稚園との調整を検討する



ふくざわ かずみ
福澤 和美 議員



入園先探しをスムーズに

問 幼稚園を希望する際、入園先を探すことに困難を感じることがないよう、受け入れ態勢の情報提供や相談会を設置する考えは。

答 子育て支援課長

各幼稚園と相談、調整を重ね効果的な情報提供の仕組みについて検討する。

防犯灯と道路照明灯の不点灯

問 長期間不点灯の場所がある。町民から通報がされにくい場所があるが、点検方法は。

答 くらし安全課長

年に一度の冬季パトロールに加えて、防犯パトロールや日常業務中に確認している。ルートは決まっていないが、通報されにくい場所を意識してパトロールしている。

自主防犯組織の防犯カメラの設置

問 設置する際は町の補助金を利用できるが、設置後のメンテナンスへの補助は。

答 くらし安全課長

設置後の維持管理は基本的に設置者となる。側面的な支援として、点検手順や役割分担をまとめた維持管理マニュアル作成を通してサポートをする。

上下水道料金の値上げはあるのか
12月の審議会で答申をいただく



がんどう えいいち
丸藤 栄一 議員



水道は町民の生命と暮らしに欠かすことができない

問 水道・下水道料金の値上げの理由は。

答 まちづくり建設課長

県流域下水道負担金や県営水道料金が値上げされた。

また、人口の減少や節水機器の普及に伴う収益の減少などが予想されているので、宮代町上下水道事業審議会※に諮り、意見を伺っている。

問 今後のスケジュールは。

答 まちづくり建設課長

10月に下水道事業経営戦略に関するパブリックコメントを実施。11月の審議会で水道料金と下水道料金を確定。12月の審議会で答申をいただく。

教育費の保護者負担の軽減を

問 文部科学省は教育委員会に保護者の負担軽減を積極的に図るよう通知している。教材備品化や修学旅行費補助などを実施する考えは。

答 教育推進課長

国の財政措置の動向や各学校の保護者負担の実態を踏まえ、検討していきたい。

問 中学校の学校給食費無償化の考えは。

答 教育推進課長

約3900万円の財政負担が必要なことから、町単独での実施は困難である。

※宮代町上下水道事業審議会とは 宮代町の上水道事業及び下水道事業の円滑な運営を図るため、町長の諮問に応じて必要な事項を審議する機関です。

要配慮者の避難所整備を

ヘルプカードを来年度導入する



小島（こじま） あけみ 議員



誰もとり残されない避難所運営を

問 福祉避難所である宮代特別支援学校や要配慮者施設の運営体制は。

答 くらし安全課長

支援が必要な方がいる場合に開設する。各施設と毎年度当初に意見交換を行っている。

指定避難所においても要配慮者スペースを設置する。

問 避難所で声を上げにくい方のためのヘルプカードの導入は。

答 福祉課長

来年度からの導入にむけ準備を進めていく。

問 中学校でのヘルスリテラシーの教育について町の考えは。

答 教育長

主に保健体育の授業で学習するほか、グループ学習も取り入れ、多面的に考える機会を設けている。健康や医療に関する情報を適切に受け止め、自らの健康を守るための行動に繋げることができるように努めていく。

問 頼れる身寄りのない高齢者の支援は。

答 健康介護課長

本年6月に、社会福祉法等の一部を改正する法律が成立し、支援体制が創設される。今後、国のガイドラインに基づき内容について検討していく。

プール屋根改修費の削減額は

節税額は3,179万円である



佐藤（さとう） 将行（まさゆき） 議員



より安い修繕をなぜ最初から検討しなかったのか？

問 ぐるるのプール屋根改修費につき、なぜ開閉式として予算要求をしたのか。

答 教育推進課長

既存機能回復のため、開閉式修繕として予算要求をした。

問 何度も担当課へ「低廉（ていれん）な固定式へ」と提案したが、工法変更による削減額は。

答 教育推進課長

3179万円の削減となる。

問 プレミアム付商品券事業の税金750万円は、当選者6681人だけに使われたということか。

答 産業観光課長

結果的には指摘の通りである。

問 プレミアム付商品券につき、町長決裁は行ったのか。

答 町長

決裁は行った。

問 1000万円出資金返還問題。今年、TMOの株主総会は開催されたのか。

答 産業観光課長

今年も行われず、法令違反状態が続いている。

問 どのように解決を考えているのか。

答 産業観光課長

会社を整理すると聞いている。

問 町予算の肥大化をどうするのか。

答 企画財政課長

計画的に事業を進めている。

災害時の公共施設ガス設備の対策

定期点検と避難時の換気で対応





ガス管接続部に漏れが生じても検知器と換気で対応

のはら ようこ
野原 洋子 議員

問 地震災害時、当町のガス発電の設備を持つ施設の対策は。

答 くらし安全課長

庁舎に隣接する防災行政無線の非常用電源のガス発電が一機ある。LPガスを貯蔵しているが、庁舎全体に配管を設置してはいない。小中学校では、空調設備のほか、職員室・家庭科室・理科室や非常用発電機の燃料にもLPガスを使用している。年2回点検し、地震発生時、遮断弁によりガスが流出しない仕組みになっている。

問 ガス管の接続部に地震によるズレが生じた場合のガスの流出の対策は。

答 教育推進課長

ガス管に漏れがあっても、基本的に出入口や窓を開けて避難するため、ガスの滞留を防げる。あわせて、ガス検知器の反応を見て対応する。

災害時の自主防災会の役割

問 避難所開設時の自主防災会の行動は。

答 くらし安全課長

指定避難所開設直後にお願いすることはない。各自主防災会のルールの中で、近所の安否確認や自主避難所の運営などを想定している。

段ボールベッドの備蓄は

折り畳みベッドを採用している



たじま まさのり
田島 正徳 議員



備蓄している折り畳みベッド

問 地域防災計画のデータが古いので、新しいデータでの策定見直しは。

答 くらし安全課長

被害想定の県データは平成24年・25年を基に策定している。今後県が見直すデータを基に、町の被害想定も速やかに見直しを行う。（建物の倒壊数・死者数・帰宅困難者数）

問 避難所での段ボールベッドの備蓄は。

答 くらし安全課長

段ボールベッドに代り簡易ベッド（折り畳みベッド）209個を備蓄している。

問 断水時の給水車、配水場の水量の備えは。

答 まちづくり建設課長

能登半島地震に災害支援で活動した可搬式タンクを3基保有している。宮東配水場第2配水池の容量（4200立方メートル）は全人口に対し3リットルの水を42日分確保できる。

特別支援教育については

問 児童生徒数が増加傾向だが教員数増加は。

答 教育長

必要に応じて特別支援教育サポーター配置の充実など、町独自の人的支援の拡充を検討したい。

みやしろ健康福祉プランの今後は

新たに認知症施策を計画していく



つかむら　かおり
塚村 香織 議員



認知症の方と、そのご家族を地域で支えます！

問 今後認知症施策をどう変えていくのか。

答 健康介護課長

新しい認知症観の啓発が柱になる。認知症になると出来なくなることが増えるという固定概念を、できることがあれば社会参加は可能であるという意識に変えていく。

問 認知症見守り支援事業としてGPSサービスと見守りシールを一体的にするなど、見直す考えは。

答 健康介護課長

今後検討していく。

小学校給食無償化

問 非喫食者への金銭的支援はアレルギー対応児童のみである。不登校児童を対象外にした理由は。

答 教育推進課長

金銭給付による支援ではなく教育機会の確保や相談体制の充実を図り支援する。

問 経済的負担軽減にはなっていないが。

答 教育推進課長

現在の制度設計は公平な支援と考える。

問 今年度のふるさと納税の寄付目標額は4000万円と伺った。現状は。

答 産業観光課長

令和8年8月末の寄付件数は620件、金額は1056万円で昨年度の同期比で306万円増である。

公共施設再編の展望は

学校の再整備と併せて考えていく



あいかわ　たいじ
合川 泰治 議員



みなさんが考えるまちの将来像は

問 現在、須賀小学校と和戸公民館の統合が進められているが、その他の施設は手付かずの状態である。機能集約を含めた方針や順番など、今後どのように対応していくのか。

答 企画財政課長

令和4年度から13年度で須賀小学校と百間小学校、次の23年度までの10年間で東小学校と笠原小学校、そして、中学校3校の再編に取り組んでいく。他の公共施設は、学校の再整備に併せて、この間の児童生徒数や社会環境、住民ニーズを見極めながら具体化を図ることになる。

問 機能集約を含めた話をいつまでにまとめていくのか。

答 企画財政課長

第5次総合計画の後期実行計画が動き出しており、この中で百間小学校と中学校は検討に着手する段階にきている。

問 再編方針の決定手法は。

答 企画財政課長

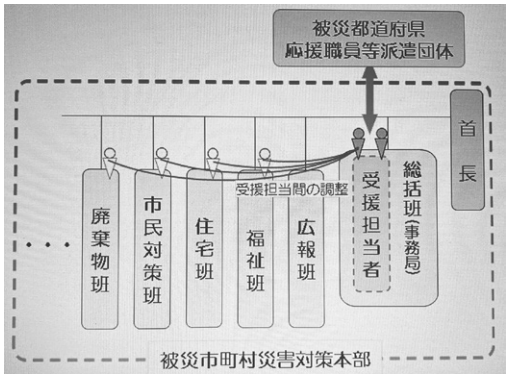
どのような学校を作っていくかということが中心になるので、市民参加あるいは関係する方に参画いただいて、その地域の将来像というものを見極めていく必要があると考える。

受援計画の策定状況と実効性は

業務継続計画を策定後に着手する



いずみしんいちろう
泉 伸一郎 議員



災害時において、受援計画の実行性は住民支援に重要

問 災害時における受援計画※の策定は。

答 くらし安全課長

現在、受援計画に必要な業務継続計画の策定を進めている。全課局室を対象に、災害時の優先業務や止められない通常業務、必要職員数の抽出を行い、策定に着手する。

熱中症対策の強化

問 高齢者や児童生徒への熱中症対策は。

答 健康介護課長

「熱中症警戒アラート」が発表されると、LINEや防災無線により迅速に周知。

答 教育長

小中学校では積極的にエアコン使用を実施するとともに、こまめな水分補給などを指導している。

問 自転車でのヘルメット着用の推進を。

答 教育長

小学校では交通安全教室を実施。中学校では登下校時には必ずヘルメット着用。

答 健康介護課長

高齢者向け自転車交通安全教室を開催。集う機会にヘルメット着用を周知する。

問 上下水道施設の耐震化の取組は。

答 まちづくり建設課長

上下水道耐震化計画に基づき、現状把握と災害に備え必要な対策を講じていく。

※受援計画とは　災害時に外部からの支援をスムーズに受け入れるための事前の計画のこと

未来の宮代町公共交通について

持続可能な交通モード・移動手段を



すずき つぎお
鈴木 次男 議員

問 循環バスを利用しない理由が大きく3点あるが、改善の計画はあるのか。

答 企画財政課長

必要な施設を1本のルートで結ぶのは、ある程度限界がある。大幅にバスだけで改善するのは難しい。

問 AI型デマンド交通の導入の考えは。

答 企画財政課長

個々のニーズと定期定時路線の間ぐらいの交通手段。今後、事業者と意見交換をしながら、何が出来るのか検討する。



理想のＡＩ型デマンド交通

問 倒木の恐れがある桜の木の管理は。

答 環境資源課長

緊急を要する16本は、9月中に伐採する。桜のある風景は、町の財産でもあるので、今後も安全確保を第一とし、適切な管理に努める。

問 和戸駅前交差点の信号化について町の考えは。

答 まちづくり建設課長

安全で円滑な道路環境の整備に向けて関係機関へ必要な情報共有に努める。

問 和戸公民館前の横断歩道に注意喚起の看板の設置の考えは。

答 くらし安全課長

歩行者向けの注意喚起対策が施せるか、現地を確認しながら設置する方向で検討していく。

議案に対する各議員の賛否

○賛成　●反対　欠：欠席　除：除斥　―議長は表決に加わらない

議案番号	議案	主な内容	議決結果	無会派 4人				共産党 1人	公明党 2人		令和新風の会 5人					議長
				佐藤将行	野原洋子	福澤和美	九山妙子	丸藤栄一	小島あけみ	泉伸一郎	塚村香織	鈴木次男	合川泰治	土渕保美	田島正徳	川野武志
45	令和７年度一般会計歳入歳出決算の認定	P2～5	認定	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	―
46	令和７年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	P6	認定	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	―
47	令和７年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	P7	認定	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	―
48	令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	P7	認定	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	―
49	令和７年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	P7	認定	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	―
50	令和７年度下水道事業会計利益の処分及び決算の認定	P7	認定	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	―
51	税条例の一部を改正する条例	P10	可決	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	―
52	認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
53	廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
54	久喜宮代衛生組合の解散及び財産処分	P10	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
55	久喜市と宮代町との一般廃棄物の処理に関する事務の委託	P10	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
56	工事請負契約の締結	P10	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
57	令和８年度一般会計補正予算（第３号）	P8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
58	令和８年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	P9	可決	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	欠	○	―
59	令和８年度介護保険特別会計補正予算（第２号）	P9	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―
60	令和８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	P9	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―
61	令和８年度水道事業会計補正予算（第２号）	P9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―
62	令和８年度下水道事業会計補正予算（第１号）	P9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―
―	佐藤議員による塚村議員に対する処分要求		否決	○	●	●	●	●	●	●	除	●	●	●	●	―

令和８年熊本地震義援金を、宮代町議会議員有志で６万円寄託しました。被災された皆様に心よりお見舞い申しあげます。

賛同した議員

川野議長　泉副議長　野原議員　福澤議員　九山議員
丸藤議員　小島議員　塚村議員　鈴木議員　合川議員
土渕議員　田島議員

訂正とお詫び

No139 号 P3 の九山議員の賛成討論

正　「須賀中学校外壁工事の内容は、百間・前原と全中学校の同時改修であることが重要・・・」

誤　“５年をかけて”を削除する

訂正してお詫びいたします。

発行／宮代町議会
発行責任者／議長　川野　武志
編集／議会広報委員会

町民の声



金子（かねこ）　哲也（てつや）さん
（中央）

三年前に、前職とは全く畑違いの「とうふ屋豆いち」を開業しました。

子供の頃から都会や人混みが苦手で、伸び伸びと暮らせるこの町がとても気に入っていましたし、それまでも宮代町で働いていたこともあり、生まれ育ったこの町で仕事が出来たらと考えていました。

豆腐屋を始めたのは、亡くなった母が豆腐好きだったことや、自分自身も健康を気にするようになったことが大きな理由です。

お客様の健康のためにも在来種を中心とした国産大豆だけを使用して、安心・安全で美味しい豆腐作りを心掛けています。

店を始めてからは、お客様から「宮代町はコンパクトだけど、個性的で魅力的な個人店舗が多い」というお話をよく伺います。私の店はまだまだ認知度も低く、軌道に乗っているとは言い難いので、そんな店になれるように、これからも精進していきたいと思っています。



表紙の写真紹介

宮代町商工会青年部主催の「スカイランタン」。みんなが思い思いのイラストや願いごとを書きました。

空が暗くなってから、全員で声を合わせてカウントダウン、夜空に一斉に飛んでいきます。

みんなの願いが叶いますように。



子育て世代の皆さんと議員との議会懇談会

サロン・ド・ギカイ を開催します



開催日　11月7日(土)
午前10時～12時

場所　進修館　小ホール

参加対象　子育て世代

皆様の参加お待ちしております

お子さん連れの参加も可

編集後記

今年度から広報委員になり、3回目の編集となりました。8月に全国町村議会広報研修会に参加し、デザイン術やレイアウトの仕方などを学んできました。住民の皆さんに、関心を持っていただき読んでもらえる広報誌づくりを、委員の皆さんと協力しながら目指してまいります。（小島）